

授業科目 (ナンバリング)		総合基礎学習Ⅱ (NH333)		担当教員	黒川 健児・大庭 義史・榎本 彩乃・ 福森 良・佐藤 博・ 早川 正信・神田 紘介		
展開方法	講義・演習	単位数	0.5 単位	開講年次・時期	3年・通年	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
「総合基礎学習Ⅱ」では、①医療人としての研究倫理、使命感の修得、②学生の自主性と連携の養成、③基礎学力の向上、を通じ、薬剤師としての資質を醸成する。							①④⑥⑨⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	薬学を学ぶ上で必要な、基礎科目の知識を理解できる。				基礎学力確認試験 (CAI, 3回)	70%	
情報収集、分析力	医療活動や研究活動に関わる諸規則、チームの一員としてのルールやマナーを遵守し、倫理に配慮して研究に取り組める。生涯にわたり薬学や医療を学び続けるモチベーションを持てる。				授業態度・発表	8%	
コミュニケーション力	スモールグループディスカッションを通じて主体性を持って学習すると共に、学んだ知識を分かりやすく説明できる。病院・薬局における顧客とのコミュニケーション法に関心を持てる。				授業態度・発表	7%	
協働・課題解決力	スモールグループディスカッションにおいて、他者との連携・役割分担に関心を持てる。東洋医学の考え方を理解し、他者に説明できる。薬学者による研究に関心を持てる。				授業態度・発表	7%	
多様性理解力	患者の基本的権利と自己決定権を尊重し、患者・家族・生活者の心身の状態に配慮し、自分の心理状態を意識して対応できる。ヒトの健康の維持に積極的に貢献することへの責任感を持つ。				授業態度・発表	8%	
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>薬剤師の使命、及び医療倫理に関しては、PBLの授業形態をとり、SGD後の発表に関してルーブリック評価を行う。評価比率はそれぞれ8%とする。薬学研究・教育者へのキャリアパスは講演内容に関するレポートを評価する。評価比率は4%とする。寄付講座では、講義と体験学習に関するレポートを評価する。評価比率は10%とする。基礎学力に関しては3回のCAI試験を行う。試験結果を別途提示するポイント表に従って評価し、累計で評価比率は70%とする。ルーブリック評価については集計後、点数を開示する。CAI試験の成績も掲示板にてフィードバックする。</p>							
授業の概要							
<p>薬剤師の使命、及び医療倫理に関しては、PBLの授業形態をとり、SGD後にグループ発表を行う。寄付講座においては、東洋医学による未病改善の提案ののち、薬膳グラノーラWS等の5項目の体験学習を行う。研究教育者へのキャリアパスでは、外部講師の講演と質疑応答を行う。基礎学力確認試験はCAIシステムを用い3回行う。基礎学力確認試験の成績動向によっては別途、演習、補習、課題の提示を行うことがある。学習の過程においては学生間の学び合いを推奨する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p>							
教科書・参考書							
教科書、参考書、指定図書：別に指示する。							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>医療人としての志を立て、倫理(ルールや規範)を身に付け、日々の誠実な学びによって豊富な知識・知恵を修得し、卒業後には修得した学術を実行し、社会に貢献することが肝要である。幕末の指導者である佐藤一斎はこれを「立志」「励行」「遊芸」と教えている。将来、社会の現場で活躍する自分をイメージして、真摯に取り組んで欲しい。基礎学力確認試験の試験範囲は事前に掲示するが、前学期までの履修科目からの出題であり、CAI課題で提示される問題から出題される。学んだことを忘れないように定期的に復習する学習習慣を身に付けることが、この科目の目的の1つであり、学生に期待することである。2年次迄に行ってきたグループ学習のコンセプトを尊び、他者との連携も図って欲しい。いずれの要素にも秀でた薬剤師として成長できるよう、自らを鍛錬して欲しい。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習	到達目標番号*
1	オリエンテーション CAI 学習	「総合基礎学習 II」のねらいについて説明する。4月 CAI 試験の結果を受け、CAI 課題の演習を行う（黒川・大庭・榎本・福森・早川・神田）	課題分野の復習をしておく。	
2	CAI 学習	基礎学力試験（CAI）に向けた CAI 課題の演習を行う。（黒川・大庭・榎本・福森）	前学期までの履修科目を復習しておく。	
3	基礎学力確認試験① ※土曜午後	CAI 試験①（5月22日予定）	試験範囲は2年生迄の物化生の3分野。	
4	寄付講座 （回生薬局）1 ※4限	東洋医学による未病改善の提案：体験内容の説明（ゲストスピーカー・実務家：平野智也、佐藤他）	前以て与えられた資料を読んでおく。	2、4、13、109
5	寄付講座 （回生薬局）2 ※5限	薬膳グラノーラWS、太極拳、お灸、ヨガ、薬草風呂作りWSの5つを体験（平野智也、佐藤他）	前以て与えられた資料を読んでおく。	2、4、13、109
6	薬剤師の使命 1 ※4限	医療の担い手としてのこころ構えとコミュニケーション（ゲストスピーカー：宮本・近藤、早川・神田・黒川・大庭・榎本・福森）	予め与えられた課題を読んでおく。	1-3、8
7	薬剤師の使命 2 ※5限	スモールグループディスカッション（SGD）による振り返り（実務家・教員同上）		
8	CAI 学習	基礎学力試験（CAI）に向けた CAI 課題の演習を行う。（黒川・大庭・榎本・福森）	前学期までの履修科目を復習しておく。	
9	基礎学力確認試験② ※土曜午後	CAI 試験②（10月2日予定）	試験範囲は3年前期迄の物化生・衛生・薬理。	
10	CAI 学習	CAI 試験②の結果を受け、苦手科目の克服に向けた CAI 課題の演習を行う（黒川・大庭・榎本・福森）	課題分野の復習をしておく。	
11	研究倫理 1 ※4限	ヒトを対象とする研究活動に求められる態度（ゲストスピーカー：福島、早川・神田・黒川・大庭・榎本・福森）	予め与えられた課題を読んでおく。	40、83
12	研究倫理 2 ※5限	スモールグループディスカッション（SGD）による振り返り（実務家・教員同上）		
13	薬学研究・教育者へのキャリアパス	薬学研究・教育者へのキャリアパスに関する講演とディスカッション（ゲストスピーカー：尾崎・住谷、黒川・大庭・榎本・福森）	指示に従ってレポートを提出する。	1062、1064
14	CAI 学習	基礎学力試験（CAI）に向けた CAI 課題の演習を行う。（黒川・大庭・榎本・福森）	前学期までの履修科目を復習しておく。	
15	基礎学力確認試験③ ※土曜午後	CAI 試験③（12月11日予定）	試験範囲は3年前期迄の物化生・衛生・薬理。	

注）上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

*到達目標番号と到達目標の対応は、巻末のコアカリ SB0 番号／項目対応表を参照して下さい。